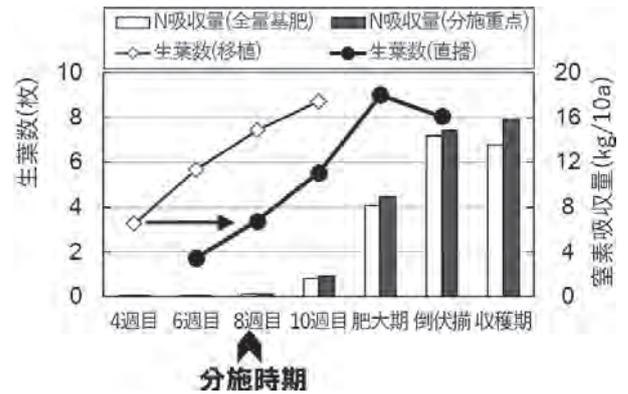


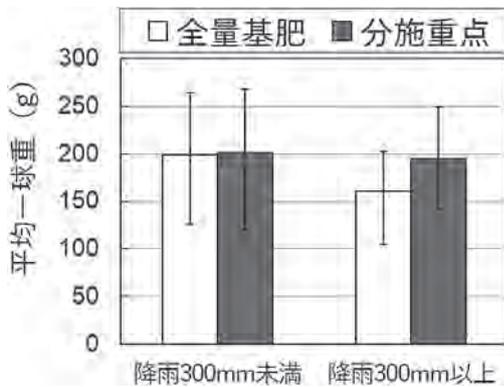
直播たまねぎの生育と窒素吸収

直播たまねぎの生育は移植の4週遅れ
窒素吸収量は10週目から急増、倒伏
揃期頃に最大に



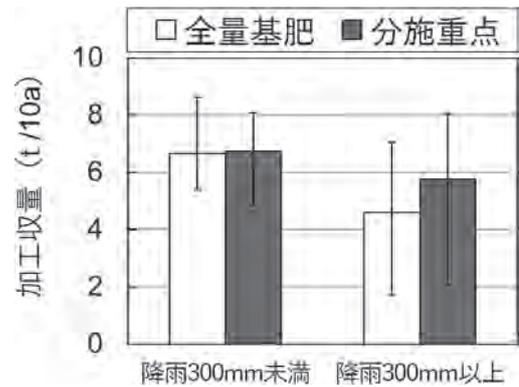
球の大きさへの効果

肥大期までの雨が深い年には一球重が
2割アップ



収量への効果

肥大期までの雨が深い年には加工収量
も2割アップ



3. 留意点

- (1) 総窒素施肥量は15kg/10aを標準とし、地力に応じて加減します。
- (2) 分施の時期は播種8週目を基本とし、前後2週の範囲で、分施日以降の降雨量の見込みが少ない場合にはやや早め、多い場合にはやや遅らせることにより、効果が安定します。

(成績名： 球肥大改善に向けた直播たまねぎの窒素分施肥)

もう少し詳しい情報はこちら

検索は、「農業技術情報広場、一般課題R1」で



本技術内容についての問い合わせ先

道総研十勝農業試験場

電話 (0155) 62-2431

E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp